

令和6年度 第4回青森県特別支援学校総合スポーツ大会

「フライングディスク競技」実施要項

- 1 日 時 令和6年7月11日(木) 10:00 ~ 14:20
- 2 会 場 競技会場 カクヒログループアスレチックスタジアム
新青森県総合運動公園 陸上競技場フィールド内
(荒天時:陸上競技場室内練習場)
招集・練習会場 陸上競技場室内練習場
- 3 日 程 開会式 10:00 (陸上競技と合同)
招集開始 10:20
競技開始 10:40
- 4 競技内容 アキュラシー (個人)
ディスタンス (個人) (荒天時 中止)
- 5 競技規則 競技は、全国障害者スポーツ大会競技規則及び青森県特別支援学校総合スポーツ大会申し合わせ事項に基づいて行う。

◇アキュラシー

(1) 区分

障害種や性別による区分けはしない。

(2) 競技種目

- ① ディスリート・スリー : スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を3mとする。
- ② ディスリート・ファイブ : スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を5mとする。
- ③ ディスリート・セブン : スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を7mとする。

(3) 競技方法

- ① アキュラシーゴールは、直径(内径)91.5cmの円形、パイプの径は2.5cmとし、前面がスローイングラインと平行で、外径の最下部は地上から61cmの高さとする。ゴールの設置は、追い風を基本とする。
- ② 選手は10回連続して試技を行い、得点はディスクが地面に触れずに直接アキュラシーゴールを通過した回数とする。
- ③ 試技の時間は、選手が1投目のディスクを受け取ってから5分とする。
- ④ 予選は行わず、各組ごと1回の決勝とする。

(4) 順位の決定方法

- ① 順位は、得点の多さで決定する。
- ② 同得点の場合は、第1得点を先に挙げた者を上位とする。第1得点と同じ場合は、順次、得点を先に挙げた者を上位とする。
- ③ ①②の方法によって順位が決定しない場合は、同順位とする。

(5) 無効試技について

- ① 選手が1投目のディスクを受け取ってから5分を超えた試技は無効とする。
- ② 選手がスローイングラインの前面を除く上部に触れるか、踏み越えたときには無効とする。
- ③ 車いすまたはいすの接地面が、スローイングラインの上部または外側の地面に触れるか、踏み越えたときには無効とする。フットレストがスローイングライン上の空間に出るのは認める。
- ④ 無効となったスローイングは、1回の試技とみなされる。

◇ディスタンス

(1) 区分

次の4区分に分けて行う。

- ①座位女子（レディース・シティング）
- ②座位男子（メンズ・シティング）
- ③立位女子（レディース・スタンディング）
- ④立位男子（メンズ・スタンディング）

(2) 競技方法

- ①スローイングエリアは、スローイングラインとエンドラインを結ぶ四角形（160～180cm）の範囲内とし、選手はこのエリア内でスローイングしなければならない。
- ②選手は1回の練習（ディスクは競技用と同規格で黄色）と3回の試技を行う。記録は3回の試技で、最も距離の遠い着地点を計測する。
- ③距離の計測は、スローイングラインの中央の計測点からディスクが最初に地面に触れた点までとし、有効範囲は競技フィールド内とする。計測はcm単位とし、1cm未満は切り捨てる。
- ④試技の時間は、選手が1投目のディスクを受け取ってから3分とする。
- ⑤座位で競技する場合のシートの高さは、クッションを含め75cm以下とする。
- ⑥予選は行わず、各組ごと1回の決勝とする。

(3) 順位の決定方法

同記録の場合は、同順位とする。

(4) 無効試技について

- ①スローイングに関する反則は、アキュラシー競技と同様に行う。
- ②選手が1投目のディスクを受け取ってから3分を越えた試技は無効とする。

6 エントリー

アキュラシーとディスタンスどちらにも申し込むことができる。

7 受付・招集

- (1) 受付は、会場に到着後、監督が学校を代表して10時までに済ませる。
- (2) 招集は、室内練習場で、その組の競技開始予定時刻20分前に開始し、10分前に完了する（介助者含む）。

8 表彰

- (1) 各組の選手に、順位に応じた賞状を与える。
- (2) 表彰式は、各組競技終了後に本部前で順次行う。

9 支援者

- (1) 選手の状況により、招集場所から各サイトまでの移動に支援が必要な場合は、申込書に支援者名を記入する。
- (2) 支援者は、許可を受けた者に限り競技場内に入場ことができ、競技役員の指示に従うものとする。
- (3) 支援者は、ビブスを着用の上、移動の支援をし、競技の支援は基本的に行えない。競技場内では選手の競技上有利になるような助言等をしてはならない。

10 練習エリアについて

- (1) 場所 陸上競技場室内練習場
- (2) 使用にあたって

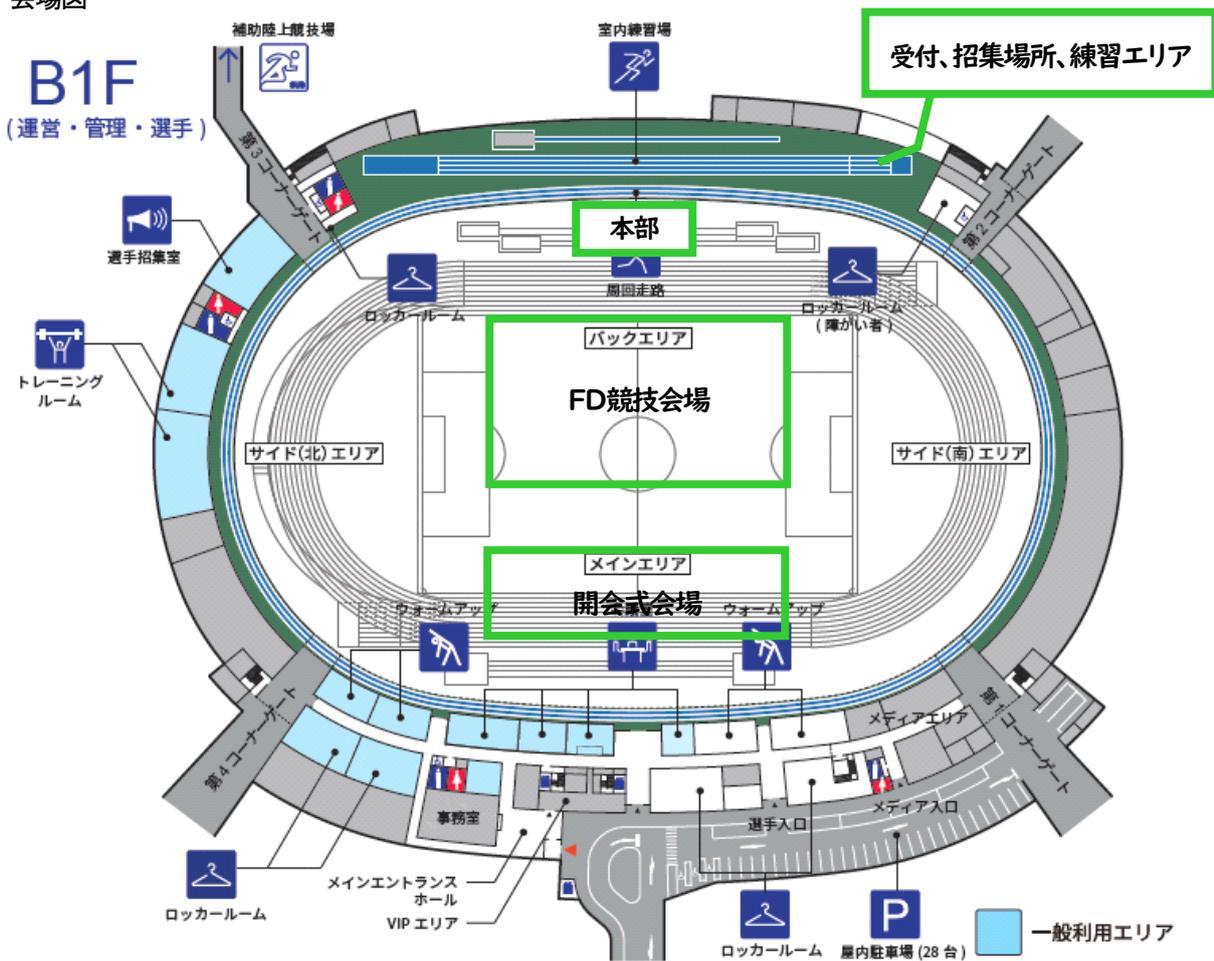
- ①練習は、各校職員引率のもと、周囲の安全に留意して行う。
- ②練習は、下記の各グループ割り当て時間内で行うこととするが、利用者が少ない時間帯は、割り当て以外のグループの使用も可とし、学校間で譲り合いながら使用する。
- ③練習に使用するディスクは、各校で準備した物を使用し、使用後は各校で消毒を行う。

11 競技日程表

競技	種目	競技No.	招集開始・完了時刻	競技開始時刻
アキュラシー	ディスリート・セブン	A ~	10:20~10:30	10:40
	ディスリート・スリー	A ~	10:40~10:50	11:00
	ディスリート・スリー	A ~	11:00~11:10	11:20
	ディスリート・ファイブ	A ~	11:20~11:30	11:40
	ディスリート・ファイブ	A ~	11:40~11:50	12:00
ディスタンス	レディース・シティング	D ~	12:00~12:10	12:20
	レディース・スタンディング			
	昼休憩		12:40~13:40	
	メンズ・シティング	D	13:25~13:35	13:45
	メンズ・スタンディング	D ~		
	メンズ・スタンディング	D ~	13:45~13:55	14:05
競技終了予定時刻				14:25

※ 陸上競技のリレーの進行状況により、ディスタンス競技の競技開始時刻を変更することがある。

12 会場図



13 その他

- (1) 監督会議は行わず、詳細な会場図を含む連絡事項を前もって別紙にて配付する。
- (2) 競技は全て競技役員の指示により進行する。
- (3) 競技は主催者が用意した公式用具により行う。
- (4) 事前に欠席が分かっている場合は、受付時（10時まで）に専門委員長に届け出る。
- (5) 選手の投げ方は自由とするが、競技上有利となる用具の使用は認めない。
- (6) 補装具は、体の一部とみなされる。
- (7) 晴天時の水分は、選手各自で準備し、プレイエリアでの水分補給は控える。
- (8) 原則として、雨天であっても競技実施とするため、雨具、防寒具等は選手各自で準備するものとする。
- (9) 撮影は撮影エリアで行うこととし、支援者の支援しながらの撮影は認めない。
- (10) チャレンジフライングディスクは、本会場では実施せず、期間内に各校で実施する。詳細はチャレンジフライングディスク競技の実施計画で確認する。

【フライングディスク専門部主管校】

青森県立森田養護学校

委員長 勘林 秀平

TEL 0173-26-2610

FAX 0173-26-3270

E-mail 2020ases014@gmail.com